

#03

# MONROE

ショック

## 正しい足を、正しく使う

文&amp;撮影：近藤浩之 問い合わせ：テネコジャパン(TEL:045-285-5211 HP：http://www.monroejp.com/)

**モ**ンローのショックと聞いて、「アメリカのメーカーだから500には関係ないや」と、反射的に思ってしまう人も少なくないのではないだろうか。確かにモンローはアメリカに拠点を置くパーツメーカーなのだが、実は世界24ヵ国・80拠点に生産・技術開発拠点を置くグローバル企業となり、アフターパーツ、カーメーカーへの部品供給においてもショックアブソーバーでそれぞれ欧州1位、2位のシェアを誇っている。

ちなみにどんなモデルがモンローのショックを純正採用しているかという、メルセデスAMGパッケージ、アウディA6、VWではシロッコ、ボルボではV70、国産ではプレマシー、デミオ、スイフトスポーツなど様々。また、メルセデス・ベンツのC、Eクラスに採用されているCES電子制御サスペンションもモンローが技術を提供している。これだけを見ても、モンロー＝アメリカンだけではないことが分かるだろう。

さてそんなモンローが今春から発売を開始した500用のショックアブソーバーとは、どんなモデルなのだろうか。モンローの日本法人であるテネコジャパンの池内さんによると、開発は全てベルギーで行われた純正形状のショックアブソーバーなのだという。純正形状でいかに純正以上のパフォーマンスを出していくか？それがモンローの技術のひとつのハイライトとなっているようだ。

その一つの例として、初期の減衰力特性で重要となるリーフバルブのデザインが挙げられる。シリンダー径φ25のものを例にとってみると、他社では10種類程度だがモンローでは50種ものデザインが用意されているという。これらの多用なデザインの中から車種に合わせたリーフバルブを選びセッティングを施すことによって、純正を超えたパフォーマンスを発揮するショックが生み出されているわけだ。500用では、ノーマルスプリングに合わせたセッティングが施されており、初期の減衰力をすばやく立ち上げることで、適正なハンドリング性能をもたらすと共にコンフォートな乗り味が提供されている。またこの性能に合わせ、リーズナブルな価格設定も魅力のひとつだろう。

「ショックアブソーバーは消耗品となっています。5万kmを超え足周りに不満が出てきたオーナーの方にぜひお試しいただきたいと思っています。純正を超える性能の提供と共に、純正形状ですので不要に車高を下げることもなく、車両への負担もありません。アフターパーツの交換＝改造ではなく、「改良」という意識で選んでいただきたいと思っています」と語ってくれた。



MAX LIFT 価格8925円(1本)。フィアット500用のリアゲートダンパー。こちらも、へたりが気になる方に。



発表から5年を経た500。足周りがへたっている個体も多くなっている。どんなショックに交換するか考えるのも、楽しみの一つだろう。



### MONROE ORIGINAL

適応車種：FIAT500ツインエア  
/1.2/1.4 (アパルトを除く)  
価格は7万4760円 (1台分)。  
フロント/1万9530円 (1本)、  
リア1万7850円 (1本)



### テネコジャパン(株) 池内 賢さん

オートモーティブアフターマーケットの池内さん。「ノーマルに対し平均的にレベルアップを望んでいる方にオススメしたい製品です」